

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年2月28日 (2013.2.28)

【公表番号】特表2012-521442(P2012-521442A)

【公表日】平成24年9月13日 (2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2012-502165(P2012-502165)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 K 8/26 (2006.01)

A 6 1 K 8/27 (2006.01)

A 6 1 K 8/28 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

B 0 1 J 2/00 (2006.01)

B 0 1 J 2/30 (2006.01)

B 0 1 F 17/38 (2006.01)

B 0 1 F 17/00 (2006.01)

C 0 1 G 23/047 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/29

A 6 1 K 8/26

A 6 1 K 8/27

A 6 1 K 8/28

A 6 1 Q 17/04

B 0 1 J 2/00 B

B 0 1 J 2/30

B 0 1 F 17/38

B 0 1 F 17/00

C 0 1 G 23/047

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月7日 (2013.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組成物であり、前記組成物は：

金属酸化物を含む材料、前記材料にコーティングする材料であって、置換カルボン酸、石けん基剤、ポリヒドロキシ酸及びこれらの組合せからなる群から選択される有機分散剤を含む材料を含み、前記有機分散剤が前記コーティングされた材料が、好ましくは有機媒体中で自己分散性となる量で存在する、組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の組成物であり、前記有機分散剤が、リシノレイン酸、ヒドロキシステアリン酸、ポリヒドロキシステアリン酸、又は水素化キャスターオイル脂肪酸である、組

成物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の組成物であり、前記金属酸化物粒子が、二酸化チタン、酸化亜鉛、酸化アルミニウム、酸化鉄、酸化ジルコニウム、酸化クロム、酸化セリウム、金属酸化物複合体及び金属酸化物及び無機塩との複合体からなる群から選択されるマイクロ化又は色素グレード粒子である、組成物。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の組成物であり、さらに、アルミニウム、ジルコニウム、シリコン及びそれらの混合物からなる群から選択される無機コーティングを含み、前記無機コーティングが場合により、前記材料及び前記有機分散剤を含む前記コーティングとの間に設けられる、組成物。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の組成物であり、さらに、シリコン、シラン、金属石けん、チタネート、有機ワックス、脂肪酸及びこれらの組合せからなる群から選択される疎水性コーティング剤を含む疎水性コーティングを含み、場合により前記疎水性コーティングが、前記材料と前記有機分散剤を含む前記コーティングの間に設けられる、組成物。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の組成物であり、前記疎水性コーティングが、前記材料と前記有機分散剤を含む前記コーティングの間に設けられ；前記疎水性コーティングが、トリエトキシカプリルイルシランを含み、及び前記有機分散剤がポリヒドロキシステアリン酸を含み；及び場合により請求項 4 に記載の前記無機コーティングを前記材料と前記疎水性コーティングの間に設けられる、組成物。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の組成物であり、さらに、エステル、オイル、炭化水素、アルキル変性シリコン液及びそれらの組合せから選択される分散媒体と、そこに分散された前記コーティングされた材料とを含む、組成物。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の組成物であり、前記コーティングされた材料が、場合により生体適合性賦形剤；及び場合により、請求項 4 に記載の前記分散媒体中に分散された前記コーティングされた材料を含む、日焼け止めなどの化粧品組成物に含まれる、組成物。

【請求項 9】

プロセスであり、前記プロセスが：

二酸化チタン、酸化亜鉛、酸化アルミニウム、酸化鉄、酸化ジルコニウム、酸化クロム、酸化セリウム、金属酸化物複合体及び金属酸化物と無機塩との複合体からなる群から選択される粒子性金属酸化物を準備すること、

ここで前記粒子性金属酸化物材料は場合により、マイクロ化粒子又は色素グレード粒子であり；

前記粒子性金属酸化物を、置換カルボン酸、石けん基剤、ポリヒドロキシ酸及びこれらの組合せからなる群から選択される有機分散剤を含む組成物でコーティングすること；

場合により、前記コーティングされた粒子性金属酸化物を乾燥すること；及び

場合により、前記乾燥したコーティングされた粒子性金属酸化物を粉砕すること；を含む、

前記プロセスが前記コーティングされた粒子性金属酸化物を自己分散性とする、プロセス。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のプロセスであり、前記有機分散剤が、リシリノレイン酸、ヒドロキシステアリン酸、ポリヒドロキシステアリン酸又は水素化キャスターオイル脂肪酸である、プロセス。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の組成物であり、さらに前記粒子が、アルミニウム、ジルコニウム、シ

リコンの酸化物及びこれらの混合物からなる群から選択された酸化物を含む無機コーティングでコーティングされ、前記無機コーティングが場合により、前記材料及び前記有機分散剤を含む前記コーティング剤の間に設けられる、組成物。

【請求項 1 2】

請求項 9 に記載のプロセスであり、さらに前記粒子性金属酸化物を、前記有機分散剤を含む前記組成物でコーティングする前に疎水性コーティングでコーティングすることを含み；前記疎水性コーティングが、シリコン、シラン、金属せっけん、チタネート、有機ワックス、脂肪酸及びこれらの組合せからなる群から選択される疎水性コーティングを含み；及び場合により前記粒子性金属酸化物を、前記疎水性コーティングを含むコーティングの前に請求項 1 5 に記載の前記無機コーティングでコーティングすることを含む、プロセス。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 に記載のプロセスであり、前記疎水性コーティングがトリエトキシカプリルイルシランを含み、及び前記有機分散剤がポリヒドロキシステアリン酸を含む、プロセス。

【請求項 1 4】

請求項 1 2 のプロセスであり、さらに、前記コーティングされた粒子性金属酸化物を、エステル、オイル、炭化水素、アルキル変性シリコン液及びこれらの組合せから選択される分散媒体と混合することを含む、プロセス。

【請求項 1 5】

請求項 9 に記載のプロセスにより調製されたコーティングされた粒子性金属酸化物を含む、化粧品組成物。